

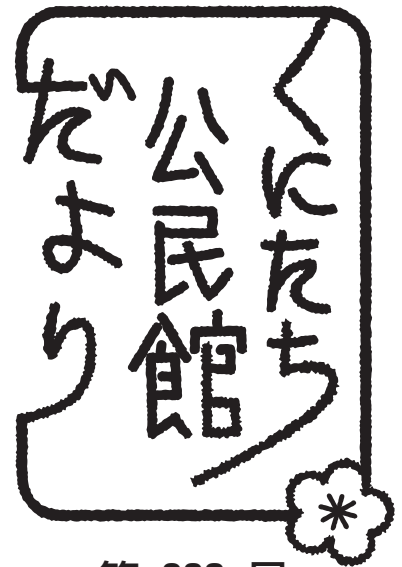
(1)



地域の方々に工作や料理、昔のあそびなどを教えてもらいながら、冬の一日を公民館で過ごしませんか。

素材の手触りを感じたり、舌で味わったり、きれいな音色を聴いたり、防災のことを学んだりさまざまな体験が詰まったイベントです。スタンプラリーをしながら、公民館内を巡ってみましょう。ふるってご参加ください。

◆対象 小学生（未就学児のお子さんが参加できるものもあります）  
\*事前の申し込みは不要です。ご自由においでください。  
◆協力 公民館利用者連絡会



第 682 号

2016年12月5日

(平成28年)

—地域の人と、あそぶ・まなぶ・交流する—

小学生のみんな、あつまれ!


## 冬休み 直前 ふれあいひろば

☆ 日時 12月17日(土) 朝10時～昼3時 ☆

### 和菓子作り

おめでたい時に食べる紅白まんじゅうを作ります。丸くしたら名前をいれて、ホカホカのおまんじゅうを味わいましょう!


じかん：朝10時～昼2時  
ところ：公民館 3階 実習室・集会室  
講師：心遊会



### オリジナルストラップ作り

木の小物に色を塗ったり、プラスチック粘土を混ぜ合わせて好きな形を作ってみましょう。ひもをつけたら自分だけのストラップのでき上がり!

じかん：朝10時～昼2時  
ところ：公民館 3階講座室  
講師：秋田康祐さん (大学通り商店会)




発行  
**国立市公民館**  
〒186-0004  
国立市中1-15-1  
TEL 042-572-5141  
FAX 042-573-0480  
休館日：毎週月曜日

### クリスマスカード作り

飛び出すかわいいクリスマスカードを作りましょう。できあがったら、お話会のはじまりはじまり。工作のじかん：朝10時～昼2時  
お話のじかん：①朝11時～、②昼1時半～


ところ：公民館 1階ロビー  
講師：まめっちょ



### 昔のあそび

「輪ゴムてっぽう」でマトあてをしたり、「コマ回し」や「けん玉」など昔の子どもたちが楽しんだ遊びをやってみよう!


じかん：朝10時～昼1時半  
ところ：公民館 1階ロビー  
講師：国立市体育協会



### ヘルマンハーブ ミニコンサート

ドイツのヘルマンさんが作ったきれいな音色のハーブは、初めてでも簡単に弾くことができます。ミニコンサートのあとは自分でも弾いてみよう!

じかん：昼2時15分～3時  
ところ：公民館 1階ロビー  
講師：アンサンブルりんのね




## ぼうさいコーナー

### ポリ袋クッキング

災害がおきたときでも食べることは大切です。ポリ袋を使って簡単にできる防災食を作って食べてみましょう!


じかん：朝10時～昼2時  
ところ：公民館 地下ホール  
講師：くにたち地域外国人のための防災連絡会 (KUNIBO)



### 消防団の役割を知ろう

火事にならないように気をつけること、火事になったらやらないといけないことなどのお話を聞きます。お話のあとは、消防士さんの服を着て消火器の使い方を体験しましょう。


じかん：朝10時～昼2時  
ところ：公民館 地下ホール  
講師：国立市消防団第三分団



### ケガをしたときの 手当てを知ろう

災害がおきたら病院へ行くのも大変です。そんな時、簡単な手当ての方法を知っていたら役に立つかもしれません。身近にあるもので、腕・足首などの手当てを習います。

じかん：朝10時～昼2時  
ところ：公民館 地下ホール  
講師：国立赤十字奉仕団



第30期 公民館運営審議会

活動のまとめ

(任期 2014年11月1日から2016年10月31日まで)

第30期公運審 活動記録

公民館運営審議会は、市民や学校の先生、社会教育の専門家などで構成され、2年間の任期で月1回定例会が開かれています。公民館に市民の声を反映するための会で、どなたでも傍聴できます。

公民館60周年記念事業と空調設備入替工事に伴う休館

2015年度、公民館は大きな案件をいくつも抱えていました。市民による実行委員会を立ち上げての開館60周年記念事業や、8月9月の空調設備入替工事による公民館全館閉鎖、11月開催の関東甲信越静公民館研究大会の幹事市などです。



一方、利用できる場の確保がなされたことは市民にとって歓迎すべきことです。やはり事前に公運審で深く議論する時間が持てなかつたことは悔やまれます。

開館60周年記念事業は、準備が工事による休館と重なったため、実行委員会も担当職員も苦労しましたが、無事盛大に終わることができ、公民館にかかわる人々の底力を感じました。

諮問「国立市公民館の事業評価のあり方について」答申を提出

2015年第11回定例会において、館長より「国立市公民館の事業評価のあり方について」の諮問を受けました。事業評価というなじみのない言葉に戸惑い、社会教育の場に「評価」を持ち込むことの難しさや疑問から、議論が前に進まず、先行事例や考え方について講師による学習会を開くこととなりました。

試験錯誤の中で、①「公民館職員」に向けて②「行政管理者」に向けて③「市民・公民館利用者」

14・11・11	「第1回定例会」委嘱状伝達。委員長、副委員長選出。公民館だより編集研究委員、社会教育学習会委員を選出。
11・22	東京都公民館連絡協議会(以下、都公連)委員部会研修会(講師・荻野亮吾氏) 委員2名参加。
12・9	「第2回定例会」委員研修「楽しい集まりとふかい学習を支えるために」公民館運営審議会の大切な仕事
15・1・13	「第3回定例会」委員研修「社会教育の概念と公民館」。館長より説明「公民館図書室運営規則」の改正。
1・16	都公連職員部会研修(講師・伊東静一氏) 委員4名参加。
1・31	都公連委員部会研修会(事例発表・井口啓太郎氏、講師・荻原建次郎氏) 委員2名参加。
2・10	「第4回定例会」公民館60周年事業「空調工休館」について説明。
3・10	「第5回定例会」公民館予算及び主催事業について、館長、担当職員より説明。次期社会教育委員の会委員選出。
3・26	都公連職員部会研修(講師・荒井文昭氏) 委員2名参加。
4・14	「第6回定例会」国立市公民館職員人事に関する要請書(案)について審議。第29期答申「現代社会に求められる公民館の事業について」の「時代は変わっても、変わらない課題への対応」を意見交換。
4・15	都公連総会。委員1名出席。
4・24	社会教育学習会「公民館60周年・上映と講演のつどい」委員4名参加。
5・12	「第7回定例会」人事要請書の提出「第29期答申」意見交換。
5・28	「国立市公民館職員人事に関する要請書」を館長に提出。
6・8	「国立市公民館職員人事に関する要請書」を市長に提出。
6・9	「第8回定例会」第29期答申中「新たな課題への対応」について、執筆委員、職員に背景を確認後、意見交換。
7・14	「第9回定例会」第29期答申中「高齢者の生きがいを得られる場づくり」を議論。「空調工事に伴う公民館休館対応」について説明。
8・11	「第10回定例会」第29期答申中「孤立した人々を結びつける場づくり」等を議論。「空調工事の進捗状況等」説明。
9・8	「第11回定例会」館長より諮問「公民館の事業評価のあり方について」を説明。

に向けて、それぞれの「事業評価」のあり方を分けて考える3つの小委員会をつくり、正・副委員長を除く委員全員が参加し、調査・議論を重ねました。答申のまとめまで短期間のため、議論をさらに深化させるには至らなかったものの、公民館における「事業評価」の必要性を、市民、職員、行政というそれぞれの立場から検証できたことは有意義でした。

社会教育の中核施設である公民館の事業評価については、成果を数字のみで示すのではなく、市民に「文教都市くにたち」にふさわしい豊かな学びの場を提供できているかが鍵となります。答申では、事業を評価するための「公民館活動をふりかえる会」の開催と、事業の成果をまとめた「アニュアルレポート(年次報告書)」の作成を提案しています。

公民館だより」も事務事業評価委員会の評価対象となり、公運審も公民館だより編集研究会とともに意見書を提出しました。事務事業評価委員会では、いくつかの課題は指摘されたものの、充実した内容であると一定の評価を得たようです。

おわりに

1955年に公民館が誕生し、昨年度には60周年を迎えました。公民館を作り上げてきた多くの市民と、それを支えた職員の活動を改めて知る機会を得た節目の年でした。

くにたちの公運審は、議論白熱、時間オーバーが頻繁なほど活発です。毎回傍聴に来られる人たちも、心強い存在です。

これからもっともっと多くの市民が学び合い、公民館を中心とし

て地域にその輪が広がるよう期待しています。



第30期公民館運営審議会

- 佐藤節子(委員長)、山田哲也(副委員長)、今村和義、大井利雄、大串隆吉、長田利信、川田幸生(2015年12月まで丹野春香)、龍野瑤子、田中一嘉、富田和枝、福田孝二、古旗真幸、間瀬英一郎、宮脇聡(2016年3月まで戸井田展)、三好紀子
- 東京都公民館連絡協議会委員部会委員 大井利雄
- 「公民館だより」編集研究委員 長田利信、龍野瑤子、三好紀子
- 社会教育学習会担当 今村和義、田中一嘉、富田和枝
- 社会教育委員の会委員 間瀬英一郎

10・31	10・11	9・13	9・3	8・25	8・12	7・26	7・12	6・14	5・10	4・20	4・12	3・15	3・8	2・22	2・9	1・30	12・18	12・8	11・14	11・10	10・16	10・13	9・26	
「国立市公民館の事業評価のあり方について」答申提出。	「第24回定例会」第30期「活動のまとめ」今期総括。	「第23回定例会」諮問「答申(案)」討議。	都公運委員部会研修会(講師・佐藤一子氏)委員3名参加。	第57回関東甲信越静公民館研究大会 委員1名参加。	「第22回定例会」諮問「答申(案)」討議。	国立市社会教育委員の会定例会にて「国立市の生涯学習に関わる課題」について、公運審委員へのヒアリング及び意見交換。	「第21回定例会」諮問、小委員会の審議を基に討議。	「第20回定例会」諮問、小委員会の審議を基に討議。	「第19回定例会」諮問、小委員会の審議を基に討議。	都公運総会。委員2名出席。	「第18回定例会」諮問、小委員会活動の経過報告参加。	「第17回定例会」諮問、小委員会別に審議を開始。(7月まで)社会教育学習会「学びの自由と民主主義のいま」委員4名参加。	「第17回定例会」諮問、小委員会の審議を基に討議。	「国立市公民館の館長人事に関する要望書」を教育長に提出。	「第16回定例会」諮問、小委員会の審議を基に討議。	「第15回定例会」諮問の討議。調査・検討方法について確認。都公運委員部会研修会(講師・齋藤真哉氏、廣瀬カズ子氏)委員3名参加。	人事要望書を教育長に提出。	「第14回定例会」諮問の討議。調査・検討方法について確認。	第56回関東甲信越静公民館研究大会 委員4名参加。	「第13回定例会」諮問について意見交換。「公民館職員の人事に係る要望書」を提出することに決定。	市長及び事務事業評価委員会委員長に意見書を提出。	「第12回定例会」諮問について意見交換。「公民館職員の人事に係る要望書」を提出することに決定。	「第12回定例会」事務事業評価委員会からの事前質問「報告」。	「公民館だより」に係る意見書について。是非を議論。文面のまとめは委員長に一任。

# 「日本語教育入門」講座参加者の声

国立市公民館では火・水・木曜日「生活のための日本語講座」終了後の1時間程度と、土曜日の朝10時〜11時半に日本語ボランティアの方が外国の方に日本語を教えたり、会話の練習相手になるなどの活動を行っています。

今回は昨年度実施した講座受講後に実際にボランティア活動を始めたお二人から、講座の感想やボランティア活動の様子を伝えていただきました。

## 「やさしい日本語」とは…

田中 祥子

日本に住む外国の方の生活を日本語支援という形でサポートするボランティア団体があることを、東京に来て知りました。留学生や転勤者本人はそれなりに日本語を話せますが、同伴されて来た家族は日本語を全く解せない方がほとんどで、一人だと買い物もままならないそうです。日本語支援を始める前に必要な知識と意識を学ぶために、「日本語教育入門」を受講しました。

本講座の講師は三名。最初の講師は、実際に日本語支援ボランティアを長年なさっておられる林川さん。日本語支援を学習者の学習の「お手伝い」と称され、支援活

動の現状と学習者と接する際の注意点を説明いただきました。二人目の講師は、最前線の日本語教育者でいらっしやる庵先生。日本の今の経済状況において在日外国人を受け入れる必要性や、そのための地域社会の役割、そして日本語に楽に馴染むための「やさしい日本語」をご教授くださいました。

「やさしい日本語」の初級編では、活用しない形の動詞、形容詞、形容副詞だけを使って会話します。確かに、日本語文法で一番理解が困難で暗記するしかない部分をこのように簡素化するのには理にかなっているなと思いました。三人目の講師の志村先生は、受講者同士のロールプレイングを通じて、サポートする現場をより分かり易くご教示くださいました。

講座終了後、ボランティア団体の先輩方の支援を何回か見学した

後、担当する学習者が決まりました。私は、留学生の家族で来日後の、日本語を全く知らない方を担当することになりました。ご本人が大変な努力家だったこともあり、今では平仮名とカタカナを駆使して文章が書け、顔を合わせたときには笑顔で日本語で挨拶をされるようになりました。嬉しい限りです。

後、担当する学習者が決まりました。私は、留学生の家族で来日後の、日本語を全く知らない方を担当することになりました。ご本人が大変な努力家だったこともあり、今では平仮名とカタカナを駆使して文章が書け、顔を合わせたときには笑顔で日本語で挨拶をされるようになりました。嬉しい限りです。



講座風景 (総論篇)

## 「日本語教育入門」を

受講して  
井辺 鈴代

今年1月からの講座を受講しました。失礼な話ですが、自分が普段使っている日本語で間違ったところがあれば直したいなぐらいの、ほんの軽い気持ちで受講しました。

というのも、私は日本語サポートボランティアが何をしている団体なのか知らなかったので、この講座の意図するところがわかっていませんでした。初日は、開講前に購入したテキストを見て驚き、講座が始まってすぐに、「想像していたのと違う……」と戸惑っていました。また、講座のなかで先生が「外国人が学ぶのが日本語で、日本人が学校で勉強したのは国語です」というようなことをおっしゃっていたのを聞いて、目からウロコ、自分の認識のなさにへこみました。ですが、講座に申し込んだのも何かの縁と気持ちを切り替え、受講することにしました。

講座では、日本に住む外国人が日本語を話せるようになることが如何に重要か、外国の方々が日本語を話せないためにどんなに困っているか、地域ではそういう外国人にどのようなサポートをしているのか等を知ることができ、日本人の理解とサポートが必要なことを学びました。また、少しの時間でしたが文法も習いました。そこで私たちの習う文法と日本語学習者の習う文法が少しだけ違うことも知りました。文法に触れたのは何十年かぶりでしたが、昔習ったことはキレイに忘れていて、今改めて勉強中です。

講座の最終日に、KUNIFFA日本語サポートの代表の方から公民館でのボランティア活動についてのお話があり、国立市でこのような活動が長く行われていたことを知りました。講座終了後、何度かボランティアの見学に行き、その後入会させていただくこととなりました。

現在は週に一日ボランティアに参加しています。母語なのに改めて人に教えるとなら思った以上に難しく、私自身先輩方のサポートを受けつつの活動ですが、楽しく参加させていただき、新しい出会いもあり感謝しています。ucciり申し込んだ講座でしたが、受講して本当に良かったです。

今年度も「日本語教育入門」の募集が始まります。関心のある方はぜひご参加ください。



講座風景 (理論篇)



監督 大森一樹 原作 小松みゆき  
脚本 大森一樹・北里宇一郎  
出演 松坂慶子、草村礼子、奥田瑛二、吉川晃司、柄本明、斎藤洋介、松金よね子ほか

ベトナムで日本語教師として働く日本人女性・小松みゆき氏が認知症の母との暮らしをつづった「越後のBaちゃんベトナムへ行く」を、フィクションを交えながら映画化。離婚をきっかけに憧れの地ベトナムへ移住し、日本語教師として働いているみさお(松坂慶子)は、認知症が進行しはじめた母(草村礼子)を義兄が施設に預けようとしていることを知り、母をベトナムに連れて来ることを決意する。母は慣れない土地での生活に戸惑いながらも、ベトナムの人々の温かさに触れるうちに少しずつ笑顔を取り戻していくのだが……。



〈シネマトーク〉

「私の女優人生」

お話 草村 礼子 (女優)

聞き手 北里 宇一郎 (脚本家)

上映終了後、『ベトナムの風に吹かれて』にヒロインの母親役でご出演されている草村礼子さんに、女優としてのこれまでの歩みや、今取り組んでいる事、これからやっていきたい事など、お話をうかがいます。

とき 12月18日(日) 昼2時~夕5時(開場: 昼1時)  
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)  
\*申し込みは不要です。ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

地域で日本語支援をしたい人のための

日本語教育入門

地域で日本語を教えてみたいと考えている方のための講座です。日本語を教える際に必要なことを、理論・実践の両方から学んでいきます。(全8回)

\*講座終了後に、日本語サポートボランティアに参加することもできます。

◆総論篇: 1月10日(火)

~地域の日本語ボランティアの役割とは~

講師: 林川 玲子

(東京日本語ボランティア・ネットワーク)

◆体験篇: 1月17日(火)

~日本語学習者の気持ちになってみよう~

講師: ムラドリ・アイダン

(一橋大学言語社会研究科)

◆理論篇: 1月24日、31日、2月7日(火)

~日本語教育のための文法事項や文型について~

講師: 庵 功雄 (一橋大学・日本語教育)

◆実践篇: 2月14日、21日、28日(火)

~地域日本語教室の現状理解と実践演習~

講師: 志村 ゆかり (東京経済大学・日本語教育)

時間 いずれも火曜日、夜7時~9時

定員 25名(先着順)

\*全回参加できる方を優先します。

ところ 公民館 3階集会室

費用 テキスト代実費 2,000円程度

(『にほんごこれだけ! 1・2』ココ出版)

申込先 12月8日(木)朝9時~

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

はじめての銅版画

講師 山本 佳奈枝 (銅版画家)

さかた きよこ (銅版画家)

興味はあるけど、難しそう? どうやって作るのかな? そんな疑問に応えながら銅版画創作を楽しむ、初心者向けのワークショップです。銅版画ならではの繊細な線で小さな作品を作ります。集まった仲間とともに作業の時間を楽しみながら、作品を創ってみませんか。出来上がった作品はロビー展示する予定です。

銅版画(エッチング)とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙のせ、プレス機で刷って作る版画です。

とき 1月15日、29日、2月12日、26日

いずれも日曜日 昼2時~5時

ところ 公民館 3階実習室

定員 10名(先着順)

対象 原則休まずに出席できる方

市内在住、在学、在勤、はじめて参加する方を優先します

材料費 1,000円(ニードル、銅板、版画紙など)

持ち物 8x10cmの下絵(タテヨコ自由)

エプロン(よごれてもよい服装)、筆記用具

申込先 12月18日(日)朝9時~

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



## くにたち野鳥観察

冬の時期にどれくらいの鳥を見ることが出来るでしょうか。冬は野鳥観察に適した時期です。1回目、2回目は外で観察会を行います。3回目は郷土文化館で実際に見られた鳥等について、講師から解説してもらいます。講師のお話を聞きながら、一緒に観察してみましょう。

ぜひ、3回続けてご参加ください。(1回だけの参加も可)

講師 佐伯 元行 (国立あおitori保育園園長)  
中島 徹也 (くにたち探鳥会)

- ◆第1回 1月15日(日)朝9時30分～12時頃  
城山周辺(観察会)
- ◆第2回 2月12日(日)朝9時30分～12時頃  
多摩川周辺(観察会)
- ◆第3回 3月5日(日)朝10時～12時  
郷土文化館(講義のみ)

集合・解散 第1回、3回 郷土文化館  
第2回 南区公会堂前

持ち物 筆記用具、お持ちの方は野鳥図鑑、双眼鏡等

定員 各回15名(先着順)

\*雨天時は3回目の講義と振り替えます。

申込先 12月9日(金)朝9時～  
公民館☎(572) 5 1 4 1

## 第53回東京都公民館研究大会 公民館のこれまでとこれから ～成果と方向性～

東京都公民館連絡協議会主催の研究大会が開催されます。今年は下記4つの課題別集會に分かれて、公民館が市民と共に創造してきた成果、取りこぼしてきたものは何であるかを明らかにし、時代に求められる公民館の役割や未来のすがたを考えていきます。

### ■基調講演

朝岡幸彦 (東京農工大学教授)

### ■4つの課題別集會

- ①高齢者の学びと講座づくり
- ②公民館から始める地域づくり
- ③公民館からの発信力を考える
- ④少子高齢化時代の公民館のあり方について考える

どなたでもご参加できます。詳細は公民館にある大会開催要項をご覧ください。

とき 2017年1月21日(土)朝10時～夕4時  
ところ 福生市民会館(JR青梅線牛浜駅)ほか  
参加費 1,000円  
申込・問合せ先 公民館☎(572) 5 1 4 1

## ＜図書室のつどい＞ 女ことばと日本語

講師 中村 桃子 (関東学院大学)

日本語には、なぜ「女ことば」があるのでしょうか。小説や映画に触れるとき、「わたし」や「～だわ」ということばで女性が話していると判断していませんか？あるいは『美人の話し方』のようなマナー本を手にとられたことがあるかもしれません。「女ことば」は私たちの日常の中に溶け込み、まるで女性たちがずっと前から使い続けてきたかのようにも思えます。——本当にそうでしょうか？

中村さんと一緒に「女ことば」の歴史や意味を紐解いていきましょう。きっと新しい日本語の世界が広がります。  
(中村さんの本)

『翻訳がつくる日本語—ヒロインは「女ことば」を話続ける』(白澤社)、『「女ことば」はつくられる』(ひつじ書房)ほか多数。

とき 12月18日(日)夕5時半～7時半  
ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(当日先着順)  
\*ご自由においでください。

＜くにたちブッククラブ 言葉のとげ、境界にたつ文学＞

## 野坂昭如『アメリカひじき』

(『アメリカひじき・火垂るの墓』所収、新潮文庫)

講師 大野 亮司 (亜細亜大学・日本近代文学)

とき 12月8日(木)夜7時～9時  
(通常より30分早く始まります)

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館☎(572) 5 1 4 1

\*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

## 国立市公民館・NHK学園高等学校共催 子ども・若者を支える“つながりワークショップ”

子どもの育ち、若者の自立を支援する地域の活動や団体の取り組みについて学びあい、“つながり”をつくる連続ワークショップです。以下3名からの活動報告と小グループの話しあいを行います。お気軽にご参加ください。

- ① 田中 えり子 (くにたち地域コラボ)  
「『わからないところ一緒に勉強しよう』学習支援 (@プラムジャム)」
- ② 平岡 恵美子 (就活保健室)  
「若者の就労支援」
- ③ 高野 宏 (国立市児童青少年課)  
「子どもの居場所とマップ作り」

とき 12月8日(木)夜7時～9時  
ところ NHK学園高等学校 2階音楽室  
(富士見台2-36-2)  
申込先 公民館☎(572) 5 1 4 1

### 第31期国立市公民館運営審議会発足

公民館運営審議会は、市民の立場から公民館事業などについて調査・審議する委員会です。

(任期：平成28年11月1日から平成30年10月31日まで)

	氏名	所属・役職(推薦団体・機関)
1	宮脇 聡	国立市立小・中学校副校長
	今村 和義	心遊会
	大井 利雄	国立まなびあるきの会
	高木 裕子	公民館利用者連絡会
2	鶴田 美緒	NPO 法人立川子ども劇場国立ブロック
	龍野 瑤子	加害者としての戦争を語る会
	和智 裕貴	国立市商工会
	川田 幸生	青年室利用者連絡会
	富田 和枝◎	哲学読書会
	深川 彌生	いちょう並木国立自治会
	古旗 真幸	たまぶらねっと
3	三好 紀子	民生委員・児童委員
	大串 隆吉○	首都大学東京名誉教授
4	鈴木 直文	一橋大学大学院社会学研究科准教授

◎は委員長、○は副委員長

(注) 1：学校教育関係者 2：社会教育関係者  
3：家庭教育関係者 4：学識経験者

#### 公民館運営審議会報告

11月8日(火)第31期第1回定例会を開催。委員15名、教育長、館長、職員2名が出席。傍聴2名。  
はじめに教育長から各委員に委嘱状を伝達(任期は平成30年10月31日までの2年間)。教育長のあいさつ、各委員の自己紹介の後、委員長、副委員長等を選出。  
委員長には富田和枝氏、副委員長には大串隆吉氏、公民館だより編集研究委員に川田幸生氏、高木裕子氏、鶴田美緒氏、社会教育学習会委員に龍野瑤子氏、古旗真幸氏、三好紀子氏、東京都公民館連絡協議会委員に大井利雄氏が選出された。その後、今後のスケジュール

#### 報告事項

公民館だより編集研究委員会  
11月号の内容について意見交換  
連続講座の要旨がよくまとめられており、学びが深まった。  
第15期編集研究委員会は11月末日をもって任期満了。  
◎社会教育委員の会  
臨時会及び定例会で、生涯学習振興・推進計画に係る答申の最終案を校正。基本方針についても表現を検討した。  
◎東京都公民館連絡協議会  
委員部会は、1月の研究大会において分科会を1つ担当する。各市の諮問・答申について情報交換  
次回、12月13日(火)午後7時15分から。傍聴歓迎。(公民館)

## ひろば

(8ページにもあります)



### 国立泉句会

五七五の俳句を自由に楽しくりませんか。花の名前や漢字も自然とおぼえるようになります。初心者の方もお気軽にご参加下さい。見学無料。会費千円。  
日時 毎月第三日曜日 昼1時  
場所 福祉会館 3階  
連絡先 田中(577) 7018

### 墨の会 募集

18年楽しくやっております書道サークルですが、少し募集致します。毎月方円という月刊誌があり、昇段試験があります。秀作はすぐ載りますよ。  
日時 第二、第四火曜日 昼1時  
場所 谷保東集会所(バス府中西高)  
連絡先 井田(575) 4598

### 俳句の扉を全開に 埋木会

日常あふれる句材と数多の季語から選ばれた出会いの面白さを体験してみませんか。「燎」北斗同人岡山祐子先生が明るく大きな声で指導下さいます。初心者大歓迎  
日時 毎月第一木曜日 昼1時  
場所 郷土文化館 第一研修室  
連絡先 漆畑(572) 7244

## 今年もやりました！ 公民館をキレイにしよう！



会場調整会やチラシで呼び掛けた「公民館をキレイにしよう！」。10月17日(月)午後、市民と職員総勢25名で、地下廊下の壁のペンキ塗り、各階の踊り場に掲示しているサークル情報の更新、正面玄関掲示板の掃除を行いました。

お気づきいただけましたでしょうか？



サークル情報がきれいになりました！

#### 呼び掛け

- ・第61回くにたち市民文化祭実行委員会
- ・公民館利用者連絡会
- ・くにたち地域外国人のための防災連絡会



地下廊下が明るくなりました！

### ～中地区をつなぐヒトモノコト～ 中のまち・団体活動紹介パネル展

国立市の中地区で活動する団体・活動をパネルで紹介いたします。10月29日に開催された「なか博～中のまち博覧会」に参加した団体活動紹介のパネルを展示します。

主催 国立市社会福祉協議会  
とき 12月20日(火)～12月28日(水)  
ところ 公民館 1階市民交流ロビー  
\*他団体の使用がなければ1月まで延長展示する予定です。

今月の公民館 (12月、1月初)

\*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 8日(木) 夜 子ども・若者を支える  
“つながりワークショップ”
- 8日(木) 夜 くにたちブッククラブ  
野坂昭如『アメリカひじき』
- 17日(土) 朝\*冬休み直前ふれあいひろば
- 18日(日) 昼\*シネボックスシネマトーク  
『ベトナムの風に吹かれて』
- 18日(日) 夕\*図書室のつどい「女ことばと日本語」
- 1月7日(土) 昼~哲学講座  
長谷川宏さんと読む『日本精神史(下)』
- 10日(火) 夜~日本語教育入門
- 15日(日) 朝~くにたち野鳥観察
- 15日(日) 昼~はじめての銅版画

国立あひるグループ

西出先生の指導で発声を基礎から学び、いろいろな曲を楽しくア・カペラで歌っています。ぜひ一度参加して一緒に歌ってみませんか?お待ちしております。

日時 金曜日 朝10時又は昼1時  
場所 公民館 地下ホール  
連絡先 重見(576) 4557

会員募集 かもめクラブ

運動不足の方、健康な身体づくりに水泳を始めてみませんか。初心者・上級者、泳力別にコーチの指導を受けて泳ぎます。男女問いません。体験可。

日時 毎週金曜日 朝10時~12時  
場所 総合体育館 室内プール  
連絡先 西野(575) 7041

「ざくら太極拳」会員募集

24式を中心に48式・32式剣を学ぶ事ができます。レベルアップしたい方や初心者の方も安心して参加できますので体験してみてください。太極拳で心身共に健康に!

日時 毎週金曜日 昼3時~5時半  
場所 総合体育館 第3体育室  
連絡先 長谷川(090) 7254

歳末助け合いレビューショー

宝塚歌劇団OGと市民による☆カジキタドリムが福祉会館で行われる歳末助け合いワンコインチャリティに出演します。ぜひ観にいらしてください。

日時 12月18日(日) 昼3時20分  
場所 福祉会館 4階ホール  
連絡先 北山(090) 8205

公運審答申「国立市公民館の事業評価のあり方について」聞く会

10月に出された公民館運営審議会の答申について、委員長をつとめた佐藤節子さんに聞き話し合います。公民館をまもる会。

日時 12月23日(祝) 昼1時半  
場所 公民館 地下ホール  
連絡先 杉原(577) 0124

第44回元旦マラソンお知らせ

10km一般男女・高校男子、5km中学男子、3km40歳以上男子・一般女子・中学女子・小学生(親同伴)。参加費高校一般壮年500円、中学300円、小学生無料。当日徴収。

日時 元旦朝9時集合  
場所 多摩川河川敷グラウンド  
連絡先 立石(090) 7095

年末年始のお知らせ

12月29日(木)~1月3日(火)

この期間は、公民館全体がお休みです。

2月分の会場調整会は、1月7日(土)朝10時から行います。参加申込書投入期限は1月5日(木)午後10時です。

公民館図書室はシステムメンテナンスのため28日(木)は夜7時までです。

〈サークル訪問003〉  
喫茶「わいがや」

が広がったという。なよりのんびりと楽しそうに仕事をしている姿が素敵だ。

公民館1階ロビー横にある喫茶コーナー「わいがや」に入ったことがありますが、ここは、35年ほど前に公民館青年室に集まる若者たちが始めたのだという。当時、公民館で青年たちとしようがいがある方が一緒に働く場合は、全国でも初めてのことだったそう。今でも見学に来る方が多数いると聞く。さすが国立!である。運営は市民団体「障害をこえてともに自立する会」が行っている。現在、10名前後の学生、社会人、主婦などがスタッフとして、また喫茶実習として4~5名のしようがいがある方が、シフト制で共に働いている。

12時開店と同時に入ったのだが、すでに9時から出勤していたという喫茶実習の山本斉子(せいき)さんが、かいがいしくアイスコーヒーの支度をしていた。大学生の入山君と加藤君が「斉ちゃん」と親しく声をかけながら一緒に働いていた。お二人は授業の合間や休みをやりくりしながらスタッフとして関わっているが、今まで出会うことのない人たちと友だちになり、時には公民館の講座に参加して世界



おいしいコーヒーがはいりました

「わいがや」は、時の流れがゆったりしていて、ちょっとレトロな雰囲気の魅力の場所だ。名物のコーヒーはハンドドリップで時間をかけ丁寧に入れてくれる。なんと20円! トーストは天然酵母の特注レーズンパン。同じものは二つとない器は、公民館の陶芸講座で学んだ市民の方の作品を譲り受けている。こんなところにも市民が関わってサポートしているのだ。「どうぞ一度、のぞいてみてほしい」そして高校生以上の若者には「ぜひスタッフとして仲間になってほしい」とは、入山君、加藤君からの切望。お待ちしております!  
連絡先 入山(090) 4660  
〈文・写真 高木 裕子〉